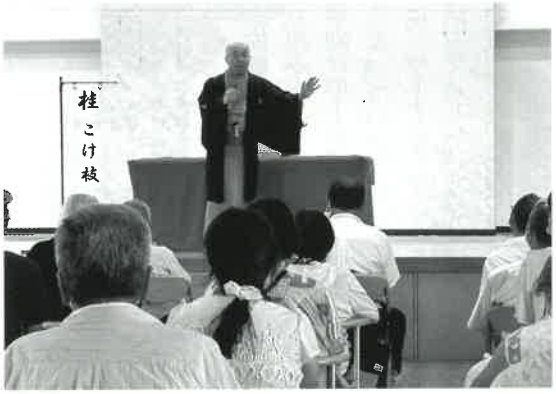
落語で笑って考える終活

ケアハウス屋島×For After

ケアハウス屋島（高松市　木村太郎施設長）と㈱For After（善通寺市　石丸裕美社長）は、7月27日に桂こけし氏を招き、落語で終活イベントを開催した。近隣等へのポスティングで集まった参加者は約30名。桂こけし氏は笑って健康にと、来場者を笑顔にさせた。また、落語の後は「終活」に関するセミナーを催し、就活は終わりの準備ではなく、これからの人生をより良く生きうるための整理と定義し、専門家による介護から不動産、遺言、墓じまいまで、幅広い悩み相談をおこなった。

ケアハウス屋島は、（福）楽生会の運営で、自立支援型ケアハウスの同施設のほか、屋島ディサービスセンター、小規模多機能施設富士、テラビーチリゾート屋島のサービスを提供している。屋島の海側のロケーションを活かした空間で、福祉事業はもとより、ホテルライクなスタイルでの高齢者向け住宅として人気となっている。木村施設長は「2000年にスタートし、当時からリゾート風施設、ホテルを参考にした経営をしている。定期的なリニューアルで鮮度を維持している。

利用者は60歳くらいから、自立の方メインだが、介護が必要な方々も自宅と位置付けられるテラビーチリゾート屋島で生活を維持していただいている。現状、満員であるが、2～3年先の予約をいただき、状況に応じて先延ばしやスキップなど様々に対応している」と話す。For Afterとは、今回初めてのコラボレーションとなる。



讃岐オリーブ牛の「高級宅配弁当」
GOKUI 極意
☎087-823-1673
ご予約2日前まで
極意　宅配弁当　検索

県内外で広く活動し、フランチャイズ店20店舗程を持つFor After では、三豊市はじめ全国の行政、団体等と連携し、イベント等の企画・実施をおこなっている。全国の就活相談ショップでは、提携先の専門家とつながる窓口となり、予約での個別相談を受け付けている。イベント、就活セミナー等も各店舗で開催しているので、気になった方はぜひ、ホームページ等をチェックしてもらいたい。

今回のイベントでは、現役世代が多く参加しており終始、笑顔が見られ高齢化の進む社会への不安解消に、また情報収集の場となった様子だった。

㈱トヨタユーゼック　三豊市へ5回目の寄付

㈱トヨタユーゼック（千葉県　北口武志社長）トヨタ・オート・オークション（TAA）四国（三豊市）は、企業版ふるさと納税として三豊市の「放課後改革」に27万6千円の寄付をおこなった。

この寄付金額は6月に開催されたチャリティイベントの売り上げから算出された金額で、今年で5回目となる。

贈呈式に訪れたTAA四国会場の松田教義会場長は「昨年は、新車の需要も供給も不安定だったが、今年になって増産、流通台数増加と、地場取引が活発になっている。イベントなどの開催も、三豊市の皆様のご協力のもと安心して活動できている。子ども達の成長への改革に賛同し、今年も協力させていただく。今後も社会情勢の影響はあるが、三豊市と共に取り組んでいきたい」と目録を手渡した。山下昭史三豊市長は「地域と共に歩んでいくという言葉が何より嬉しい。部活動にはできるだけ多くの選択肢を用意したい。最近では、地域おこし協力隊のコンテンポラリーダンスや、マネー部、まちの人事部など様々に活動している」と礼を述べた。

㈱トヨタユーゼックは今年70周年を迎えた。全国にTAA会場は16ヶ所。良質なトヨタ車をはじめ、豊富な車種の中古車オークションを開催している。

チャリティーオークションでの寄付活動は、東日本大災害を機に始まり、福島県への寄付金は9年間、合計4189万円。2021年から各会場所在地16地方自治体に寄付をおこなっており、4年間の合計は2468万円となる。このほかにも地域のイベントへの協賛、清掃等様々に取り組んでいる。

現在のリスク対策を具現化した
防災士の考えたBCPパーク

1F　南海トラフ地震対策BCPパーク
2F　採用力アップのリゾートオフィス
株式会社11ネット・インシュアランス
高松市香南町池内788-8　TEL.087-816-1713

News Spot

日本郵船㈱（東京都）が川崎重工業㈱坂出工場で建造した大型LPG運搬船が、「LUNA PATHFINDER」と命名され、竣工後はアストモスエネルギー㈱に定期傭船される。重油とLPGを燃料として使用できる二元燃料エンジンを搭載。主機からプロペラにつながる軸の回転を利用して発電することにより、通常航海中にディーゼル発電機を停止させ、ほぼLPG燃料のみで航行可能。